

会長テーマ：クラブの主役は、会員一人一人です。

会長 荒井信弘
幹事 中村直弘
会報 佐藤陽二

国際ロータリー第 2770 地区第 8 グループ越谷南ロータリークラブ
〒343-0842 越谷市蒲生旭町 10-14 中野ビル 2F Email : info@koshigayasouth-rc.jp
TEL : 048-987-5761 FAX : 048-987-5762 例会日：毎週木曜日 12：30～13：30



2019年 4月 4日 第2191回例会 会報

【点鐘】

【ロータリーソング斉唱】

【ロータリーの目的唱和】

【四つのテスト唱和】

【ロータリアンの行動規範唱和】

【ゲストビジター紹介】

越谷南高校ローターアクトクラブ



【会長あいさつ】

荒井信宏会長

【会長エレクト発表】 中内 啓夫 会長エレクト



皆様、こんにちは。

本日はお客様として、越谷南高校インターアクトクラブの3人の学生にお越し頂きました。後程、韓国訪問の報告を頂きたいと思います。

今日は温かい日になりましたが、ここ数日は風が冷たくてとても寒かったですね。

皆様、健康には充分留意して頂きたいと思います。

さて、今年度も残り3ヶ月になりました。残す主な行事は、今年度の最大イベントである5月25日の創立45周年記念式典です。小林実行委員長をはじめ、実行委員の方々が素晴らしい企画をしていますので、楽しいイベントになると思います。

私もとても楽しみにしています。是非、会員の皆様、全員参加で当日は盛り上がりまして行きましょう。

【誕生祝い】



【幹事報告】

中村直弘幹事

**【理事会】**

- 1.【協議】 4月5月のプログラムについて<プログラム>⇒承認
- 2.【協議】 田中誠さんの退会について<増強>⇒承認
状況、経緯を鑑みてやむを得ず受理
- 3.【協議】 ゴミゼロについて<社会奉仕>⇒承認
市からの正式な依頼はまだだが見込
- 4.【協議】 親睦旅行の日程について<親睦>⇒承認
6/23(日)～24(月)
- 5.【協議】 45周年式典の予算と特別会費について<45周年>⇒承認
予算案② 特別会費1万円を頂くことで承認。宮古、台中の予算も考慮。体制表についても承認。
- 6.【協議】 親睦ゴルフ・合同夜間例会の決算について<親睦>⇒承認
- 7.【協議】 喜寿のお祝いを創立記念日6/28夜に実施⇒承認
- 8.【報告】 仁多見楓花さんの帰国が6/15(土)に決定<青少年>

【今年度】

- 越谷南高校から吹奏楽部第34回定期演奏会のご案内を頂きました。5/2(木)、場所はサンシティで、昼の部13時開演、夜の部17時開演です。毎回大変素晴らしい演奏会ですし、5月25日の当クラブ創立45周年アトラクションでもお世話になります。ぜひ多くの会員で観に行きましょう。

【次年度】

- 以前、案内させて頂きましたが、4月12日(金)は地区研修・協議会です。大宮ソニックシティにて10:20点鐘、午前中の本会議の後、各部門の分科会に別れます。対象の方はご参加頂けますようお願い致します。

【委員会報告】**プログラム委員会 石川委員長**

例会終了後、プログラム委員会を開催します。

**【ロータリーの友紹介】**

斎藤 寿一委員

**【表彰】**

米山功労者表彰 石川勝利会員 小林武弘会員

**【RI 終了証授与】 小池 夏代会員****【青少年交換】**

ホストファミリー



【韓国交換学生帰国報告】



【会長エレクト発表】 中内 啓夫 会長エレクト 【会長エレクトセミナー報告】 中内 啓夫 会長エレクト



PETS について。

日時 3月 27 日午後 1 時から 5 時まで、場所 地区事務所会議室、講師 小林ガバナーエレクト、鈴木伸雄 青少年交換委員会 委員長、村松 繁 浦和東ロータリークラブ会長、の 3 人にご指導いただきました。

1 限目 小林ガバナーエレクト

小林ガバナーエレクトの自己紹介を頂きました。

幼いころに、後天的に小児麻痺を患ってしまったこと。その後の思春期ころまでの闘病生活をお話しされました。その流れでロータリーとポリオ撲滅運動への思いを伺いました。

RI 会長エレクト マーク・ダニエル・マローニー氏の講演動画を視聴し、会長方針等を視聴いたしました。RI 会長は、アメリカ合衆国、アラバマ州の Decator ロータリークラブの会員だそうです。職業分類は弁護士であり、米国弁護士協会とアラバマ州弁護士協会、アラバマ州法律協会の会員でもあるそうです。その他多くの地域・教育・商工会議所等の役員

も歴任されているようで、RI においても多くの役職を全うされたようです。

彼の方針は「ロータリーは世界をつなぐ」となっており、活動の協調事項を 4 つ以下のとおり示されました。

その 1 「ロータリーを成長させること」

その 2 「家族」

その 3 「リーダーとなるようにする道を開く」

その 4 「国連とのパートナーシップ」

それぞれのお話を聞くにつれ、ロータリー活動は地域社会のみならず、国連とともに NGO 活動を行おうとしているように感じました。

小林ガバナーエレクトは「ポリオ撲滅活動から、クラブ活性化へ」というスローガンの下、2019-20 年度地区目標を以下のとおり掲げられました。

- ・世界ポリオデー 10 月 24 日に全クラブがイベントを開催し寄付を勧奨する。
- ・クラブ戦略計画（又はビジョン）を作成し年度計画に掲載する。
- ・全クラブが会員 100%MY ROTARY に登録する。
- ・全クラブが「ロータリー賞」に挑戦する。
- ・会員増強維持、インターアクト・ローターアクトの人数を増やし共に積極的に活動する。
- ・財務の適正化、クラブ活性化に励む。

以上の地区目標に対して次の地区数値目標が示されました。

1. 会員数 2270 名
2. 出席率 90%以上を目指す（メーキャップの活）
3. ロータリー財団寄付

年次寄付	会員 1 名	200 ドル
ポリオ・プラス基金	会員 1 名	50 ドル
恒久基金クラブ 1 名	（ベネファクター 1,000 ドル）	
	※会員 50 名以上のクラブ 2 名	
4. 米山記念奨学会寄付

会員 1 名	25,000 円	（普通寄付 5,000 円 特別寄付 20,000 円）
--------	----------	---------------------------------
5. 青少年交換学生 12 名
6. クラブポリオデー開催数 74 クラブ 100%
7. ポリオデー等イベント募金目標額（上記ポリオ・プラス基金とは別）

※クラブ会員 @50 ドル以上

2 限目 鈴木伸雄氏 青少年奉仕部門

(1) 青少年育成・インターアクト委員会の方針が示されました。

(2) ローターアクト委員会の方針とローターアクトの説明がなされました。

(3) RYLA 委員会の意義が述べられました。

(4) 青少年交換の意義・歴史・地区の現状・2020-21 の募集等が述べられました。

その他、各クラブで受け入れられている、交換留学生についての、クラブ支出について意見交換がなされ、青少年が異文化環境において、相互理解を深めることの意義とクラブ負担について話をされました。

3 限目 村松繁氏 ロータリー財団部門

- ・ロータリー財団の歴史と成立ち
- ・第 2770 地区 2019-20 年度ロータリー財団部門構成図
- ・ロータリー財団の補助金について
- ・ロータリー財団の資金モデルについて
- ・資金推進委員会
- ・ポリオ・プラス委員会
- ・補助金・V T T委員会
- ・地区補助金運営委員会
- ・地区補助金運営委員会
- ・財団奨学・平和フェロー・学友委員会
- ・資金管理委員会

についてのご説明がありました。

感想

本年は、ポリオに関する活動が強化されるべきであると感じました。その中で、ロータリークラブの現在の方向性を理解しつつ、しっかりと国際奉仕事業を行えるクラブになりたいと感じました。補助金には、金額や使い道によっていくつかに分類されているということが分かりました。補助金を獲得するためには、基本的には、1. (しっかりと) 調査と計画、2. 評価可能な目標、3. 規格に基づく事業の実施、4. 事業の結果の取りまとめ、といったステップが大事であることが分かりました。このステップは理事会の議案審議においても活用できると思いました。

他のクラブの会長エレクトがおっしゃっていましたが、会員数の少ないクラブでは、交換留学生を受け入れること自体が不可能なので、何とかしたい。そのためにはグループ内のいくつかのクラブで、一人を面倒が見れないかと提案されておりました。私は、越谷南クラブが約 50 名の会員によって構成されていること、その為、他のクラブでは経験できない青少年奉仕事業を持っていることに誇れる気持ちが芽生えました。ただしこの事業を継続するには、財政面のほか、交換留学生事業という「異文化出身の若者が一年間過ごす」ということ自体について、しっかり受け止めるの必要性を感じました。振り返ると、一部の会員の方々への過度な負担感の軽減も喫緊の課題であります。

クラブの健全化にも取り組む必要があるとも感じました。財政は勿論、会員の増強、出席率の向上、親睦の強化を図り、世代間で話し合う機会を設け、結果としてクラブを継続できる力を生み出すの必要性を感じました。特に、我がクラブにおける会長候補者の擁立方法について、しっかりとした過程の作りこみ、あるいは若手会員の会長就任に対する意識の醸成が必要と感じます。

今年は手続要覧が改訂される年です。定款は RI に加盟している限り変更できませんが、細則は自身のクラブを映し出せるように作り直しても良いとあります。2019-2020 年度は積極的に動かしてまいります。変えられるから、変えるのではありません。これまでも今年のような人事は起きたそうですが、その時によって立つべき細則が脆弱で、手続きの迷路に入り込んでしまいました。これは貴重な時間の無駄であります。しっかりと今回の件を復習し次回の対応をスムーズにできるように細則を整備してまいります。

【フォーラム】 荒井 信宏会長

例会場・事務所の移転について



【スマイル報告】

お陰様で

スマイル 29 件 49,400 円
累計 137,9752 円

荒井、長澤、小池、小林(武)、石川、飯泉、赤松、三上、吉田、中島、飯泉、斎藤(寿)、小林(光)、中島松本、石塚、中村、岡田、浅水、小池、長澤、小林(秀)神谷、田中、瀬尾、深沢、中内、金塚、小林(武)、岩淵深井、池田

ありがとうございます。

【出席報告】

例会日	平成31年4月 4日		
会員数	47名	出席	31名
出席免除者	8名	欠席	名
出席率	66.0%	前々回MU	4名
MU修正率	66.0%	会報担当：石川	

米山功労者への感謝状

